



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東 大

上場会社名 石原薬品株式会社

コード番号 4462 URL <http://www.unicon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹森 莞爾

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 浅野 真司

TEL 078-681-4801

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (法人・個人向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,844	7.9	382	△32.5	401	△30.6	249	93.2
23年3月期第2四半期	7,272	17.4	566	168.4	578	156.5	129	△10.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	33.49	—
23年3月期第2四半期	18.65	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,173		13,378			77.9
23年3月期	16,947		13,318			78.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 13,378百万円 23年3月期 13,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
24年3月期	—	15.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,400	8.4	650	△29.6	700	△26.0	450	△1.8	60.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	7,460,440 株	23年3月期	7,460,440 株
24年3月期2Q	191 株	23年3月期	91 株
24年3月期2Q	7,460,249 株	23年3月期2Q	6,936,356 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の停滞を脱し回復の途上にあります。が、欧州の債務問題への懸念などから米欧景気の減速など世界経済の変調が新たな不安として浮上してきており、円高の進行や長期化、株式市場の低迷などが続き先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、電子関連分野の金属表面処理剤の輸出を中心に旺盛な需要があり伸びを示しました。この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高7,844百万円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益382百万円（前年同四半期比32.5%減）、経常利益401百万円（前年同四半期比30.6%減）、四半期純利益は249百万円（前年同四半期比93.2%増）となりました。

セグメント別の売上高及び概要は、次のとおりであります。

(セグメント別の売上高)

(百万円未満切捨表示)

セグメント		前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	増減	平成23年3月期
金属表面処理剤 及び機器等	製品	2,376	1,930	△445	4,432
	商品	1,031	2,095	1,063	2,337
計		3,407	4,025	618	6,769
電子材料	製品	150	164	13	350
	商品	713	550	△163	1,143
計		864	714	△150	1,493
電子関連分野計		4,272	4,739	467	8,263
自動車用化学製品等	製品	562	655	92	1,071
	商品	266	210	△55	508
計		829	865	36	1,579
工業薬品	製品	108	127	18	229
	商品	2,061	2,112	50	4,136
計		2,170	2,239	68	4,366
総計		7,272	7,844	572	14,209
内訳	製品	3,198	2,876	△321	6,082
	商品	4,073	4,967	894	8,126

(セグメント別の業績の概要)

(電子関連分野)

電子関連分野が対応する電子部品業界は、震災からの復旧により生産は回復してきておりますが、世界的な景気後退への警戒から需要回復ペースに陰りが出てまいりました。

①金属表面処理剤及び機器等

金属表面処理剤の国内市場は、震災によるユーザーの生産の停滞、海外工場への生産移管などがあり完全には回復に至っていない状況であり、また、海外市場にも共通する状況として薄型テレビ、パソコン等の販売の低迷による在庫のたぐつきから電子部品・半導体の需要が減速し対応するめっき液の需要が低迷しました。一方、海外市場は、このような状況がありますが拡大するスマートフォン等の需要増に関連し、台湾・韓国のユーザー向けにシリコンウエハーバンプ用めっき液の

需要は大きく伸びました。また、化成処理液自動管理装置は、海外を中心にプリント基板、タッチパネル等スマートフォン関連の生産工程に多く採用され受注を伸ばしました。この結果、金属表面処理剤及び機器等の売上高は、4,025百万円（前年同四半期比18.1%増）となりました。

②電子材料

電子材料のニッケル超微粉は、ユーザーのセラミックコンデンサの生産状況もあり需要は低調に推移しましたが、機能材料加工品は、半導体製造装置業界向けの部品需要増により伸びました。この結果、電子材料の売上高は、714百万円（前年同四半期比17.4%減）となりました。

(自動車用品分野)

自動車用品分野は、ガソリンスタンドの統廃合によるガソリンスタンドの減少、事故率低下、補修に対する価値観の変化等で市場規模の縮小傾向が続いておりますがOEM商材のエアコン洗浄剤、補修用コンパウンドの拡販等を促進した結果、売上高は、865百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。

(工業薬品分野)

工業薬品分野は、対応する鉄鋼分野において、特殊鋼、高級鋼の需要が旺盛で関連する薬剤の需要は堅調に推移しましたが、化学関連の海外向け塩ビ触媒は、円高等不振で低迷しました。この結果、売上高は、2,239百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

(2) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の業績予想につきまして、売上高は金属表面処理剤、電子材料、工業薬品を中心に増減が予想されます。特に金属表面処理剤においては、バンプめっき液の伸びが大きく寄与するものと予測しますが、製商品の構成割合の関係で売上総利益率の低下が見込まれます。また、タイで発生しました大洪水の関連で、めっき薬品のユーザーが被災され、鉛フリーめっき液等の需要が当地域を中心に低下するものと予想され、これらを勘案し平成23年7月28日に公表いたしました数値を以下のとおり修正いたします。

平成24年3月期業績予想の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	15,300	820	880	540	72円38銭
今回修正予想 (B)	15,400	650	700	450	60円32銭
増減額 (B—A)	100	△170	△180	△90	—
増減率 (%)	0.7	△20.7	△20.5	△16.7	—
(参考)前期実績 (平成23年3月期)	14,209	922	945	458	65円67銭

* 上記予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいております。

そのため、様々な要因により実際の業績は上記業績予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,145,687	4,027,039
受取手形及び売掛金	3,525,164	3,697,668
有価証券	70,154	1,252
商品及び製品	547,025	497,951
仕掛品	50,011	49,593
原材料及び貯蔵品	487,594	499,262
その他	154,353	130,204
貸倒引当金	△352	△370
流動資産合計	8,979,638	8,902,601
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,659,591	1,626,112
その他(純額)	939,782	970,005
有形固定資産合計	2,599,373	2,596,117
無形固定資産		
投資その他の資産	42,649	42,111
投資有価証券	3,920,727	4,202,138
その他	1,408,764	1,433,213
貸倒引当金	△4,089	△2,246
投資その他の資産合計	5,325,402	5,633,104
固定資産合計	7,967,425	8,271,334
資産合計	16,947,064	17,173,936
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,560,085	2,642,932
1年内返済予定の長期借入金	24,000	20,000
未払法人税等	84,912	144,507
賞与引当金	149,277	146,795
役員賞与引当金	22,600	22,600
その他	260,445	294,518
流動負債合計	3,101,321	3,271,353
固定負債		
長期借入金	8,000	—
退職給付引当金	104,515	69,465
役員退職慰労引当金	233,388	245,377
資産除去債務	38,512	38,512
その他	142,563	170,556
固定負債合計	526,980	523,911
負債合計	3,628,301	3,795,265

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,447,280	1,447,280
資本剰余金	1,741,909	1,741,909
利益剰余金	10,357,183	10,457,853
自己株式	△85	△190
株主資本合計	13,546,289	13,646,853
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△227,526	△268,182
評価・換算差額等合計	△227,526	△268,182
純資産合計	13,318,762	13,378,671
負債純資産合計	16,947,064	17,173,936

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	7,272,020	7,844,784
売上原価	5,258,395	5,917,812
売上総利益	2,013,624	1,926,972
販売費及び一般管理費		
販売促進費	25,624	22,686
運賃及び荷造費	127,423	137,408
旅費及び交通費	77,282	77,504
報酬給与手当及び賞与	328,483	319,420
賞与引当金繰入額	77,766	76,153
役員賞与引当金繰入額	11,300	22,600
退職給付引当金繰入額	9,168	8,951
役員退職慰労引当金繰入額	11,990	11,988
福利厚生費	89,518	94,559
研究開発費	395,451	437,344
減価償却費	42,962	42,076
貸倒引当金繰入額	7	17
その他	250,243	293,768
販売費及び一般管理費合計	1,447,223	1,544,480
営業利益	566,401	382,491
営業外収益		
受取利息	1,753	1,111
有価証券利息	15,318	16,219
受取配当金	15,252	18,652
その他	14,662	13,240
営業外収益合計	46,985	49,223
営業外費用		
支払利息	1,373	1,187
売上割引	832	893
為替差損	22,269	18,069
コミットメントフィー	9,160	9,160
その他	1,030	1,020
営業外費用合計	34,666	30,331
経常利益	578,720	401,383

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	—	67
貸倒引当金戻入額	199	—
特別利益合計	199	67
特別損失		
固定資産売却損	135	0
固定資産除却損	1,802	811
投資有価証券評価損	212,641	14,492
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38,512	—
その他	—	10
特別損失合計	253,092	15,314
税引前四半期純利益	325,827	386,136
法人税等	196,497	136,260
四半期純利益	129,330	249,876

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	325,827	386,136
減価償却費	144,572	151,659
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△211	△1,825
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,239	△2,482
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△33,900	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	214	△35,049
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,990	11,988
受取利息及び受取配当金	△32,435	△35,991
支払利息	1,373	1,187
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△86	△1,012
為替差損益(△は益)	13,904	2,960
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	212,641	14,492
固定資産売却損益(△は益)	135	△67
固定資産除却損	507	323
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38,512	—
売上債権の増減額(△は増加)	△81,164	△172,504
たな卸資産の増減額(△は増加)	△36,147	37,824
仕入債務の増減額(△は減少)	138,131	82,846
その他の流動資産の増減額(△は増加)	61,328	24,876
その他の流動負債の増減額(△は減少)	7,043	△10,832
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△113,049	△19,762
その他の固定負債の増減額(△は減少)	20,000	—
小計	682,427	434,768
利息及び配当金の受取額	29,676	35,323
利息の支払額	△1,373	△1,187
法人税等の支払額	△218,292	△77,119
営業活動によるキャッシュ・フロー	492,438	391,784
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
定期預金の払戻による収入	9,000	9,000
有価証券の取得による支出	△714,460	△549,666
有価証券の売却及び償還による収入	551,580	270,000
有形固定資産の取得による支出	△84,974	△35,005
有形固定資産の売却による収入	84	259
無形固定資産の取得による支出	△17,116	△5,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△258,887	△313,778

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350,000	350,000
短期借入金の返済による支出	△350,000	△350,000
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△18,000	△12,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△18,554	△25,165
自己株式の取得による支出	△51	△105
配当金の支払額	△103,990	△149,170
財務活動によるキャッシュ・フロー	△90,596	△186,441
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,904	△2,960
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	129,049	△111,395
現金及び現金同等物の期首残高	3,738,322	4,136,687
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,867,372	4,025,291

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。